

Pacer Pro - セットアップガイド

Pacer Pro デスクトップ拡張機能パッケージのインストール、ライセンス有効化、復旧のための独立ガイドです。

Pacer Pro には Pacer の基本的な読書支援機能に加え、購入後に有効化されるライセンス付き Pro 機能が含まれます。

1. 動作環境

このガイドは、以下の環境のみを対象としています。

- デスクトップブラウザ専用。本ガイドは手動で読み込む Pacer Pro パッケージを対象としており、モバイルブラウザは対象外です。
- 推奨ブラウザ: デスクトップ版 Google Chrome の最新安定版。
- ブラウザ要件: Manifest V3 に対応した Chromium 系ブラウザ。このパッケージは Manifest V3 を使用します。
- 現行 Chrome の対応 OS: Windows 10 以降、または macOS 12 Monterey 以降。
- 代替候補: Microsoft Edge (Chromium ベース) の最新安定版。
- メール受信環境: 購入後に届くライセンスキーと、有効化時に使用するワンタイム認証コードを受け取るために必要です。
- インターネット接続: 初回の有効化時と、その後のライセンス確認時に必要です。
- 本ガイドの範囲: beta、dev、canary、モバイル、Linux、ChromeOS、将来のブラウザ / OS リリースについては保証しません。

2. インストール手順

1	<p>パッケージをダウンロードして解凍</p> <p>pacer-pro.zip をダウンロードし、PC 上で保管できるフォルダに解凍します。インストール後に解凍したフォルダを削除したり移動したりしないでください。ブラウザはその場所から拡張機能を読み込みます。</p>
2	<p>拡張機能ページを開く</p> <p>Google Chrome のアドレスバーで <code>chrome://extensions/</code> を開きます。</p>
3	<p>Developer mode を有効にする</p> <p>拡張機能ページ右上の Developer mode をオンにします。</p>

4	<p>解凍済みフォルダを読み込む</p> <p>Load unpacked をクリックし、解凍した Pacer Pro フォルダを選択します。</p>
5	<p>拡張機能を固定する</p> <p>有効化時にポップアップやオプション画面を開きやすくするため、ブラウザツールバーから Pacer Pro を固定してください。</p>

3. ライセンス有効化

- まず、ブラウザツールバーの Pacer Pro 拡張機能アイコンをクリックします。
- ブラウザツールバーから Pacer Pro のポップアップまたはオプション画面を開きます。
- 購入時のメールアドレスと、チェックアウト後に送付されたライセンスキーを入力します。
- ワンタイム認証コードを請求し、メールで受け取った内容を正確に入力します。
- 現在のライセンスポリシー: 1 ライセンスあたり最大 5 回まで有効化できます。
- 後日の復旧やサポートに備えて、購入メールとライセンスメールを保管してください。

4. 基本的な使い方

- Alt+R で Pacer の開始 / 停止を切り替えます。macOS キーボードでは通常 Option+R です。
- Alt+Up と Alt+Down で速度を調整します。macOS キーボードでは通常 Option+Up と Option+Down です。
- Alt+M でモードを切り替えます。macOS キーボードでは通常 Option+M です。
- 有効化状態を確認したり Pro 設定を管理したりする必要がある場合は、ポップアップまたはオプション画面を開いてください。

5. トラブルシューティング

- 有効化に失敗する場合は、購入時のメールアドレスとライセンスキーがライセンスメールの内容と完全に一致していることを確認し、そのうえで OTP メールが受信箱または迷惑メールフォルダに届いていないか確認してください。
- 有効化が成功したのに Pro 機能が表示されない場合は、ページを再読み込みするか開き直し、ポップアップまたはオプション画面でライセンス状態を確認してください。
- 有効化上限に達している場合は、未使用のインストールを無効化するか、購入時のメールアドレスを使ってサポートに連絡してください。
- ブラウザ内部ページや一部の管理環境、またはセキュリティ制限の厳しい環境では、オーバーレイ、ショートカット、その他の拡張機能動作がブロックされることがあります。

6. 復旧に関する注意

- 本ガイドは、現行のデスクトップ版パッケージと現行のライセンス運用フローに限定されています。ブラウザベンダーの変更、管理対象デバイスの制限、非対応プラットフォームでは、別のセットアップ手順が必要になる場合があります。